

なごや地球ひろば訪問プログラム学校給食体験

～開発途上国の学校給食を体験しよう！～

開発途上国では、多くの子ども達が飢えに苦しんでいます。また、貧しさやその他様々な理由で学校に通うことさえ出来ない子ども達も大勢います。そこで、JICAを始め様々な国際機関や NGO が、開発途上国で学校給食を食べられるよう支援しています。学校給食を提供することによって、子ども達は少なくとも一日に一回は栄養のある食事を食べられるようになったり、両親も子どもを学校に通わせるようになったりします。

このように開発途上国の子ども達にとって色々な意味で重要な学校給食について、なごや地球ひろば訪問プログラムでも体験できます¹。ご提供しているメニューは、アフリカ・ウガンダの代表的な学校給食メニューである「ポシヨと白いんげんのトマト煮」です。給食メニュー(1名分)は、以下のとおりです。

- 白いんげんのトマト煮 約200g
- ご飯 約220g
- ポシヨ 約70g
- 飲み物

* 備考: 白いんげんのトマト煮は、ひとつの鍋に約10名分を目安にご用意しています。



なお、この学校給食体験は、開発途上国の学校給食支援の一つ、テーブル フォー トゥー (TABLE FOR TWO) プログラムに参加しており、「ポシヨと白いんげんのトマト煮」一皿につき 20 円が開発途上国の子ども達の給食のために寄付されます。テーブル フォー トゥーとは、直訳すると「二人の食卓」。ウガンダの学校給食を体験して頂くと共に、ウガンダほか開発途上国の子ども達と、時間と空間を越えて給食を分かち合ってください。

¹ 学校給食のご提供は有料になります。また、ウガンダの学校給食一食を体験して頂くため、お代わり等はご遠慮頂いていますので、ご了承下さい。

テーブル フォー トゥー (TABLE FOR TWO)とは？

テーブル フォー トゥーとは直訳すると「二人の食卓」、つまり先進国の私達と開発途上国の子も達が、時間と空間を越えて食事を分かち合うというコンセプトです。世界の 67 億人のうち 10 億人が飢えに喘ぐ一方で、10 億人が肥満等の生活習慣病に苦しんでいます。この深刻な不均衡を解消するため、テーブル フォー トゥーが創設され、プログラムが始まりました。

対象となる定食や食品をご購入頂くと、一食につき 20 円の寄付金がテーブル フォー トゥーを通じて開発途上国の子も達の学校給食になります。20 円とは開発途上国での給食一食分の金額です。つまり先進国で一食採るごとに開発途上国に一食が送られるという仕組みです。

テーブル フォー トゥーのメニューはカロリーが高くなく、生活習慣病やメタボリックシンドロームの改善に役立つようヘルシー素材による料理とされ、なごや地球ひろば／カフェクロスロードでは、ウガンダの学校給食を体験して頂きたく、「ポショと白いんげんのトマト煮」をご提供させて頂いています。

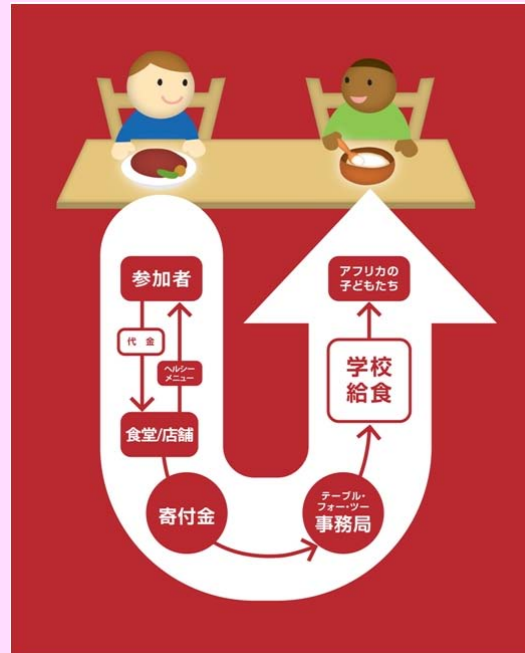


TABLE FOR TWO